

平成 27 年度富山県衛生研究所研究成果発表会プログラム

日 時 平成 27 年 11 月 13 日 (金) 15 : 00～17 : 00
場 所 富山明治安田生命ホール (富山市宝町 1 丁目 3-10)

1 開会挨拶

所長 佐多 徹太郎

2 富山県衛生研究所の概要

次長 上出 功

4 研究成果発表

細菌部 (60 分 15:10～16:10)

①「集団食中毒事例で分離された腸管出血性大腸菌の特徴」

部長 綿引 正則

②「富山県における結核菌分子疫学調査」

主任研究員 金谷 潤一

ウイルス部 (50 分 16:10～17:00)

③「富山県におけるマダニ・蚊の分布状況と病原体保有状況」

主任研究員 佐賀 由美子

④「富山県におけるノロウイルス・サポウイルスの検出状況」

研究員 稲崎 倫子

5 閉会 (17:00)

次長 上出 功

研究成果の概要

「集団食中毒事例で分離された腸管出血性大腸菌の特徴」

細菌部 部長 綿引 正則

平成 23 年 4 月、富山県を中心に、焼肉チェーン店で提供されたユッケを原因食品とする患者 181 名、うち 5 名が死亡した集団食中毒が発生しました。患者便から腸管出血性大腸菌 O111 および O157 が検出されました。今回の食中毒事例を細菌学的に理解するために、毒素産生に関連する O111 由来の Stx2 フェージを中心に解析した結果を報告します。

「富山県における結核菌分子疫学調査」

細菌部 主任研究員 金谷 潤一

結核患者数は年々減少してきており、過去の病気と思われがちですが、平成 26 年には富山県で 131 人の新たな患者が発生しています。富山県では、結核菌のまん延実態とその動向を把握することを目的として、結核患者の実地疫学調査とともに、結核菌の Variable Numbers of Tandem Repeat (VNTR) による分子疫学調査を実施しており、今回はその結果について報告します。

「富山県におけるマダニ・蚊の分布状況と病原体保有状況」

ウイルス部 主任研究員 佐賀 由美子

ヒトや動物を吸血するマダニや蚊は、病原体を媒介することがあります。こうしたマダニや蚊が媒介する感染症対策を行うためには、マダニや蚊の発生時期・場所・種類や病原体の保有状況を把握することが重要です。富山県におけるマダニ・蚊の分布状況と病原体保有状況について報告します。

「富山県におけるノロウイルス・サポウイルスの検出状況」

ウイルス部 研究員 稲崎 倫子

ノロウイルスやサポウイルスは胃腸炎を起こす病原体で、集団感染や食中毒を起こすことがあります。当所では、胃腸炎患者や下水からこれらのウイルスを検出することで、県内の流行状況の把握を行っています。今回は、2012 年以降のウイルス検出結果のほか、次世代シーケンサーでの検査によりサポウイルスが原因と判明した胃腸炎事例について報告します。